一般社団法人 安来青年会議所

# JCI ふれあい

題字　理事長 渡部　俊介

発　行　所
一般社団法人 安来青年会議所
理事長　渡部　俊介
安来市飯島町1240-3
☎㉒3038
編　集　青少年育成委員会
編集長　遠藤　章

## 『一年間を振り返って』

一般社団法人　安来青年会議所
第四十九代　理事長　**渡部　俊介**

平素より一般社団法人安来青年会議所の運動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。皆様のご協力により、間もなく私の理事長としての任期を終えさせて頂きます。つきましては、私の誇れる仲間との一年を振り返らせて頂きます。

**【はじめに】**

２０１５年度一般社団法人安来青年会議所のスローガンは「フリーダム」と掲げておりました。この「フリーダム」は、私の想いを凝縮したスローガンであり、最も大切にしたい想いは私たちが行う事業に「萎縮しないこと」でした。年当初15名でスタートした２０１５年でしたが、必ずしも経験豊富なメンバーが多かったわけではなく、我々の大切にする「なぜ」を今まで以上に大切にしなければ安来青年会議所としての一致団結は難しいと感じていました。そのような中、「なぜ」という問題の本質を突き詰めることで制約が生まれ、事業として「伝わりにくくなる」ことを嫌いました。青年らしく、斬新な発想で、「この町と共に将来を見据えた事業を行いたい」との想いを乗せ「フリーダム」というスローガンを誕生させました。

このような想いの下、今年度も多くの事業を行ってまいりました。

**【事業を通じて】**

本年度は、島根県内の青年会議所メンバーが集う島根ブロック大会を安来の地で開催致しました。このブロック大会は、多くの協力頂いている方々や歴史を築いて来られた先輩方に感謝すると共に次の世代(年度)にバトンを渡す大切な事業でした。来賓の方々、先輩方、事業に参加された市民の皆様、そして島根県内各地のＪＣメンバーと会場に困るほどの多くの方々に参加いただきました。この大会を設営する私たち安来青年会議所メンバーは、様々な事態を想定し参加頂ける方一人ひとりへのおもてなしは何かを議論し、運営したことを覚えております。至らぬ点もありましたが、皆様に楽しんで頂けましたこと、メンバーに多くの気付きがありましたこと、とても貴重な経験をさせて頂きました。

また、子供たちの夏休みの時期に「食を通じて感謝の気持ちを持ってもらう事業」を行いました。この事業は、食材がどのようにして生まれてくるのかの視察、食材への感謝への講座、親御さんと共に作る料理体験、親御さんからお子様への手紙などなど、子供たちの五感に触れる体験事業でした。子供たちそしてご父兄の笑顔、素直なありがとうという言葉がすべてを集約しており、この事業をして良かったと心から思っております。

今年度の事業を任せている委員長の一人にフェンシングの熟練者がいました。彼は、フェンシングを通じたまちづくりというテーマに取り組みました。そこには、フェンシングが好きだからこそ、フェンシングを通じて成長してきたからこそ、もっと皆に知ってほしい、もっと皆に触れてほしい、その気持ちがしっかりと入った事業を立案してくれました。「まちづくり」には人の交流が欠かせません。安来の地にはフェンシングが強い高校があること、一つのこの地の文化だと私は思います。この強みをテーマに行った事業は多くの交流を生みました。他の青年団体と連携して子供向け事業「やすぎエンジョイチャレンジ」の中でもフェンシング体験を取り入れることができました。フェンシングを通じてのまちづくりには、まだまだ小さな一歩ですが、委員長一人の思いがＪＣを動かし、そして他の青年団体にも伝わり連携して事業を行うことができたこと、もっともっと私たちができる可能性が沢山あることを気付かせてくれた事業にもなりました。

まちの活性には変化が必要です。米子と安来を繋ぐ新しい道「中海架橋」の早期実現に向け、安来高校の美術部と連携して9号線にある看板の掛け直しを行いました。どじょっこＴＶにも協力頂き、多くの方に周知してもらいました。私の理事長職は間もなく終えますが、今年度培った経験はバトンを渡す次の世代の中で活かし、このまちで皆様方と共に楽しい生活を送っていきたいと思っております。

最後になりますが、今年度一年間多くの方々のご協力ご指導頂きましたこと心より感謝申し上げ結びとさせて頂きます。ありがとうございました。

**【おわりに】**

一年を通じて、楽しいこと、苦しいこと、困難なこと、結果が出たこと、失敗したこと、たくさんのことをメンバーと共有してまいりました。そのすべてを通じて充実した一年となり、メンバーと共に過ごした時間は私の生涯の財産となっています。20歳から40歳までと年齢の制限はございますが、もっと多くの方にＪＣのメンバーとして一緒に運動をしていきたいとも強く思えた一年でした。

「誰かがやればいい」ではなく「率先して行動する」からこそＪＣであり、先輩方から受け継いできたバトンです。私の理事長職は間もなく終えますが、今年度培った経験はバトンを渡す次の世代の中で活かし、このまちで皆様方と共に楽しい生活を送っていきたいと思っております。

最後になりますが、今年度一年間多くの方々のご協力ご指導頂きましたこと心より感謝申し上げ結びとさせて頂きます。ありがとうございました。

# 一年を振り返って

青少年育成委員会
委員長　遠藤　章

２０１５年度、青少年育成委員会の委員長を務めさせていただきました。6月、10月と事業を担当させていただき、6月例会では「家庭に潜む児童虐待の罠」と題して事業を行いました。本事業では、児童虐待は決して他人事ではなく、特異な人だけが起こす問題でもありません。子育てをする中で誰にでも起こり得る可能性を秘めているという事、そこに陥るきっかけとなるいくつもの要因がある事を知っていただき他人事から自分事への意識の変革を目指しました。そして、児童虐待に陥らない為に何に注意を払えば予防になるのか、グループワークにより意識の浸透を図りました。

また、10月例会では「伝えたい私の戦争～戦後70年を迎えて～」と題し、実際に太平洋戦争を経験された安来原爆被爆者協議会　会長赤名正市様を迎え、当時の状況や価値観、そして戦争を経験してない私達世代に向けて想いを語って頂きました。

本年も、青少年そして保護者の方の現状について多くの事を考え、学ぶ事業を開催しました。青少年を取り巻く環境は年々変化しております。時代に即し青少年そして保護者の方の一助になれるようにこれからも運動を展開してまいります。

今年一年ありがとうございました。

# 一年を振り返って

まちづくり委員会
委員長　西村陽介

２０１５年度、まちづくり委員会の委員長を務めさせていただきました。例会では4月、8月を担当致しました。

4月例会では「凛を胸に　フェンシングのまち・安来」を目指してと題して例会事業を行いました。まちが盛り上がる為に安来の代表的なスポーツであるフェンシングを取り上げ、フェンシングが安来市の象徴的なスポーツとして根付くことをイメージして頂き、フェンシングのまち・安来を目指す上で先ずフェンシングに興味や関心を持ってもらうことを目的とし開催しました。他地域での成功例やフェンシングのルール説明を通し、安来＝実演でのフェンシングに繋がる第一歩となったと思います。

8月例会では「過去の事例から学ぶまちづくりのポイント」と題し、今後成長産業として見込まれている観光にスポットを当て、安来市内外の観光地の成功要因、反省すべき要因を踏まえ魅力ある観光地づくりのポイントを学んで頂きました。そして今後のまちづくりに活かす考え方を学んで頂いたと思います。

まちづくり委員会として魅力あるまちを目指してこれからも運動してまいります。

今年一年ありがとうございました。

# 一年を振り返って

LOM運営支援・会員拡大委員会
委員長　大和晃介

本年度、私は一般社団法人安来青年会議所に入会して初めて委員長を務めさせて頂くことになりました。改めて一年間を振り返ってみますと、あっという間に過ぎてしまったように思います。LOM運営支援・会員拡大委員会としては、一年間の中で担当する例会などは法人として順守すべき内容が多かったように思いますが、自分自身がこの委員会で運動することが出来て本当に良かったです。例会に向かう礼儀・作法といった基本の部分についても一年間しっかりと見直す事が出来ました。

また、一年間、会員拡大を担当させていただき色々な方とお話をする事ができました。大きな結果を残すことは出来ませんでしたが、委員会メンバーと話し合い、共に協力しあって行う事が出来た一年間はとても充実するものであり、自分の財産になると思います。

この一年間の経験を次に生かせれるよう精進していきたいと思います。渡部理事長をはじめ理事の皆様、また安来青年会議所メンバーの皆様、本当に一年間ありがとうございました。

（一社）安来青年会議所への
お問い合せ・ご質問・ご要望は
（一社）安来青年会議所事務局
〒692-0014 安来市飯島町1240-3　TEL0854-22-3038　FAX0854-22-3293
対応時間：月曜日・水曜日・金曜日（9:00～16:00）
E-mail:yasugi-jc@galaxy.ocn.ne.jp　http://yasugi-jc.sakura.ne.jp
広報誌『ふれあい』についてのご感想・ご要望もお待ちしております。

事業報告

# 「食で繋げる感謝の心」

青少年育成委員会
委員長　遠藤　章

「食で繋げる感謝の心」と題しまして、安来市内の小学生を対象に事業を行いました。日本は物質的に豊かな国です。私達が日々送る生活では物が溢れ、それが当たり前のように感じて暮らしています。この日々の生活は多くの人々の支えの中で成り立っていますが毎日の事なので忘れがちです。子供たちには日々の生活の中から多くの人々の中で生きているという「感謝」の気持ちを感じ取り、人の喜びや痛みが分かる心豊かな子ども達に成長してもらいたいと願い本事業を開催致しました。

人が生きていく根源である「食」をテーマに子ども達に直接体験する事で感じ取ってもらいたいと事業を計画しました。安来市内の農園、牧場の方々の御協力により作物の収穫、牧場の視察を行い作り手の想い、願いなど子供たちにも分かりやすく伝えて頂きました。夏休みには親御さんと一緒に料理体験を行い親御さんよりどのような気持ちで食事を作っているのかを子供たちに宛てて手紙を読んで頂きました。そして「食品ロス、フードマイレージ、地産地消」に関する講座を実施しました。何気なく食べている日々の食事ですが、食べ物が自分の口に届くまで多くの人の関わりによって食事が出来る事など、日常には多くの感謝があり当たり前と思える事から感謝の気持ちを感じ取ってもらいたいと思います。

本事業に御協力頂いた皆様、ご参加頂いた皆様ありがとうございました。

事業報告

# そのひと筆に想いを！中海架橋早期実現プロジェクト

本年度は、国道９号線の島田町にある「中海架橋の早期実現を！」の看板の改設除幕式を12月５日に行いました。この看板は島根県立安来高等学校の美術部の生徒さんたちと一緒に作成しました。

当日は、ＰＲ活動も兼ねて20分ほどではございますが９号線に立ちＰＲ活動を行いました。この中海架橋事業は、昭和62年７月に安来青年会議所の先輩方が行われた、ドラム缶で橋を掛けるといった事業から始まっています。昨年、６ＪＣ経済文化交流会に於いては安来青年会議所より会長を輩出し、中海、宍道湖圏域の地域発展を考えこの中海架橋の必要性を提言書として島根・鳥取県庁の方へ提出もさせて頂いております。

今年度は現役メンバーで安来市民の方に広く知って頂きたくこの事業を行いました。安来高校美術部の生徒さんには、この橋が掛かればどんな街ができるのか、どんな街になって欲しいのかを思い描きながら表現して頂きました。数々の企業様からのご協賛頂きこの事業が出来た事に本当に感謝しております。本当にありがとうございました。

**「中海架橋の早期実現を！」看板には、下記のみなさんに協賛いただきました**　（順不同）

ホンムラ㈱
吉田歯科クリニック
㈱守谷刃物研究所
㈲忍谷建設
㈱シオミ
近藤住建㈲
吉村司法・調査・行政事務所
ハッピーガレージ
㈱加藤商事
島根県トラック協会安来支部
㈲トータルクリーン
㈲ハザマ
㈱小林電機
そば処まつうら
㈲はんのえ
遠藤清二税理士事務所
廣江眼科
㈱永惣
㈲島根コンタクト
㈲中村商店
トーアレンタル㈱
（一社）島根県安来建設業協会
㈲荒島アポロ石油
㈱赤井商事
㈲リフォーム本舗
ＨＳＰ．Ｄａｒａｓ
Ｄ－アシスト
㈲カメラのハマダ
㈱セノオ
吉田酒造㈱
㈲中田建設
アクアシステム㈱
㈲喜多川板金
㈲丸和運輸
㈲増本土建
まるいち木工
㈲山陰ＵＰ販売
㈱木下工務店
山陰酸素工業㈱
遠藤社会保険労務士
矢田醤油店

事業報告

# ～第41回島根ブロック大会報告～

ブロック大会運営委員会
委員長　増本康志

今年度は島根ブロック協議会が主催をする第41回島根ブロック大会を安来の地で開催致しました。

この島根ブロック大会は記念事業と記念式典からなっており、記念事業では「インフラ整備と滞在型観光」をテーマにパネルディスカッションを行いました。これは地域資源が豊富にある山陰地方で全線開通をしていない山陰道など、インフラ面で整備が遅れている島根県における今後の発展に繋げるパネルディスカッションになったと思います。

そして、記念式典においては来賓の方々をお招きし、我々青年会議所がどのような想いで運動をしているのか発信をし、先輩の方々に我々の姿を見ていただくことで、とても意味があったことだと感じます。

最後に、今回の記念事業におきまして多くの地域住民の皆様にご参加をいただきありがとうございました。この記念事業を通して、島根県の発展、安来市の発展に繋がる大きな一歩になっていただけたら幸いです。

## 新入会員紹介

### 新入会員所感

古山宏樹

２０１５年６月に安来ＪＣに入会しました、古山宏樹と申します。

半年間ではありますが、安来青年会議所の活動を通じて、「自らテーマを決め、徹底的に議論し、そして纏め上げる」このような物事の進め方を訓練できる団体だと感じました。

40歳までという限られた中で、自ら試練を課し、多くの経験を積み、一歩ずつ成長していきたいと思います。

## 新入会員紹介

### 新入会員所感

矢田敦子

【勤務先】矢田醤油店
【所在地】安来市中津町131

２０１５年１月に安来青年会議所の会員となり、早１年が経ちます。進学の関係で安来を離れていた際に、地元に帰ってから若い私に何か出来ることはないだろうかと考えていたところ、縁あって諸先輩方の勧めを頂き、自分の意志で入会しました。

これから先、ＪＣ運動に協力して頂いている方々への感謝の気持ちを忘れず、一人でも多くの方に安来の魅力を発信し、活気溢れるまちづくりに貢献出来るよう努力していきたいと思います。

## 会員を募集しています

青年会議所には、品格ある青年であれば、人権、国境、性別、職業、宗教の別なく、自由な個人の意志によって入会できますが、20歳から40歳までという年齢制限を設けています。これは青年会議所が、青年の真摯な情熱を集結し社会に貢献することを目的に組織された青年のための団体だからです。すべての会員は40歳を超えると現役を退いてＯＢにならなくてはなりません。この年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっています。各地青年会議所の理事長をはじめ、すべての任期は一年に限られています。

青年会議所は、一人ひとりの会員が優れたリーダーシップを持つ社会人となるためのトレーニングを行う団体です。一年ごとにさまざまな役職を経験することで、会員は豊富な実践経験を積むことができ、自己修練の成果を個々の活動にフィードバックさせています。青年会議所におけるさまざまな実践トレーニングを経験した活動分野は広く、ＯＢも含め各界で社会に貢献しています。たとえば政界では120人を超える国会議員をはじめ、知事、市長、地方議員などの人材を輩出、日本のリーダーとして活躍中です。

一般社団法人安来青年会議所は、そのような全国697の青年会議所のうちの一つで、安来市全域を活動エリアとして、地域社会の発展と平和に寄与することを目的として活動している団体です。

一般社団法人安来青年会議所は、一般社団法人米子青年会議所様のスポンサーを以って1966年に創立され、ＯＢの方々の御努力により数々の事業を行うとともに、地域に根ざした活動に軸を置き日々の活動を行っています。そして、安来市にお住まいの皆様や行政、その他各地青年会議所の方々のご理解を頂いた結果、現在に至っています。

ふるさと安来の為に、メンバー一人ひとりが新たな分野にも挑戦していこうと強い意気込みを見せています。一般社団法人安来青年会議所では、皆様の御参加を心よりお待ちしています。是非一緒に活動してみませんか？

- 多くの仲間との出会いがあります
- 様々な自己啓発トレーニングを体験できます
- 様々なセミナーに参加できます
- ＪＣのシステム体験から組織運営を学べます
- 涙があふれるような感動を体験しませんか
- ＪＣを通じて生涯の友人を作ることができます
- 社会人としてはまだ若いが人間的成長のラストチャンスです

「ふれあい12月号」は左記の皆様のご協賛をいただき、発行いたしました。

D-アシスト
㈲カメラのハマダ
㈱セノオ
吉田酒造㈱
㈲中田建設
アクアシステム㈱
㈲喜多川板金
㈲丸和運輸
㈲増本土建
まるいち木工
㈲山陰ＵＰ販売
㈱木下工務店
山陰酸素工業㈱
遠藤社会保険労務士事務所
矢田醤油店
（順不同）